

◆地震に伴う異常処理手順

地震に伴う弊社の恒温恒湿槽、恒温恒湿室の復帰手順を以下に示します。予め、お客様のユーティリティ(給水、電源、排水、空調等)の確認をお願いします。下記、1～7に該当する場合はメンテナンスコールをしてください。

No	確認項目	異常時の処置
1	機器に水がかかっていますか？	電気部品等に水がかかっている可能性があります。 電源を入れしないでください。 運転中の場合は電源をお切りください。
2	機器が移動、転倒していますか？	部品が故障している可能性があります。 電源を入れしないでください。 運転中の場合は電源をお切りください。
3	機器からの水漏れはありますか？	電気部品等に水がかかっている可能性があります。 電源を入れしないでください。 運転中の場合は電源をお切りください。
4	恒温恒湿室の場合、室外機の転倒、配管外れはありますか？	室外機が正常に稼働しない可能性があります。 電源を入れしないでください。 運転中の場合は電源をお切りください。
5	扉を開け、槽(室)内に機器部品の散乱はありますか？(注1)	部品が故障している可能性があります。 電源を入れしないでください。 運転中の場合は電源をお切りください。
6	扉を開け、槽(室)内に検体の散乱はありますか？(注1,注2)	清掃を行ってください。清掃後、下記7以降を確認してください。
7	機器からの異音、異臭などはありますか？	部品が故障している可能性がありますので運転中の場合は電源をお切りください。
8	機器から警報の発生はありますか？	取扱い説明書の「トラブルとその処置」を確認し対処してください。
9	上記の1～8のどの項目に該当しない場合	機器が運転中の場合は、パネル表示値、記録計指示値が設定値に安定している事を確認してください。また運転を開始する場合は運転開始後、設定値に30分以上安定する事を確認してください。安定しない場合はメンテナンスコールをしてください。

注1) 恒温恒湿室の中に入る場合は必ず扉を開放しておき、2名以上で作業を行い、1名は室外で待機しておいてください。(扉のロック機構が壊れていて、室外に出られなくなる可能性があります。)

注2) 散乱した検体が粉末の場合は、機器内部に入り込み、異常を起こす可能性がありますので、電源を入れしないでください。